

手軽で確かなアドバイス

ICP-MS オンラインリソースライブラリ

ICP-MS の完璧な性能を実現する

5つのヒント

不正確な標準液、損傷のあるインターフェースコーン、ネブライザの詰まりは、分析の生産性と、やがてはラボの業績に影響を及ぼす可能性があります。始まりから終わりまで、ICP-MS を完璧に動作させ続けるための5つの簡単なヒントをご紹介します。

お手持ちのシステムに関連するパーツを確認するには、次のサイトをご覧ください。
www.agilent.co.jp/chem/agilentresources

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2017

Printed in Japan, May 1, 2017

5991-8041JAJP



ネブライザの詰まりを防ぐ

サンプルをプレフィルタータに通すこと、オートサンブラブローブを最適な高さに調節すること、リントフリーの布だけを使用することが大切です。サンプルが変わった場合 (実験が終了するたびに)、ネブライザを完全にすすぎます。

www.agilent.co.jp/chem/nebulizer



インターフェースコーンに気を配る

適切なクリーニング技術を用いること、および分析前にコーンをコンディショニングすることにより、高い感度、低バックグラウンド、長期にわたる安定性を維持します。

www.agilent.co.jp/chem/interface-region



クリーンに保つ

スプレーチャンバとトーチを適切な方法でクリーニングし、プラズマのサンプリング深さを最適化することにより、長期にわたる性能を向上させ、汚染を低減します。

www.agilent.co.jp/chem/torch-box



高品質の標準液を使用する

既知の不確かさが提示されている認証標準物質 (CRM) から新鮮な標準液を準備することにより、正確で高精度の較正データを確保します。高純度の試薬と脱イオン水だけを使用し、汚染を低減します。
www.agilent.co.jp/chem/standards



ポンプチューブも忘れない

ペリスタルティックポンプチューブを定期的に点検し、必要に応じて交換することにより、精度と QC データを改善します。

www.agilent.co.jp/chem/sample-intro

これらのヒントの実演を参照するには、Agilent ICP-MS オンラインリソースライブラリにアクセスしてください。

www.agilent.co.jp/chem/icp-ms-resource



Agilent Technologies